

2026年度 福岡県工業技術センタークラブ総会

日時： 2026年7月21日(火) 13:00～

場所： 福岡リーセントホテル 舞鶴の間

資料集

・会員名簿	資料集1～3頁
・役員名簿	資料集4頁
・2025年度福岡県工業技術センタークラブ活動実績表	資料集5頁
・2025年度先端技術シンポジウム収支決算書	資料集6頁
・2025年度4部会事業費明細	資料集7頁
・福岡県工業技術センタークラブ会則	資料集8～11頁
・議事説明資料	資料集12～27頁

2025年度 福岡県工業技術センタークラブ会員名簿(1/3)

2026年3月31日現在(敬称略)

NO.	企業名
1	アイクオーク(株)
2	アイスマン(株)
3	アイム電機工業(株)
4	赤司電機(株)
5	(株)アガペファーム
6	(有)アクアシティ
7	アスカコーポレーション(株)
8	(株)アステック
9	(株)アステックペイント
10	uppercut
11	(株)天野商店
12	荒木製蠟(株)
13	(株)アレックスエンジニアリング
14	(株)イケヒコ・コーポレーション
15	石川金属工業(株)
16	(株)石橋製作所
17	(株)イシモク・コーポレーション
18	一番食品(株)
19	位登産業(株)
20	(同)いなかつ商店
21	(株)稲築サイエンス
22	(有)イマヤマ
23	イワタ工業(株)
24	(株)ウエキ産業
25	(株)エーエスエー・システムズ
26	(株)エース・ウォーター
27	(株)エコウッド
28	(株)江藤電機
29	(株)エヌ・エル・エー
30	(株)NKE
31	(株)エム・アイ・エス
32	(株)MHホールディングス
33	(株)MKバイオ
34	(株)エムティアイ
35	大石化成(株)
36	大川化粧合板工業協同組合品質管理機構
37	(株)大川鉄工
38	(株)オークマ
39	オーケー食品工業(株)
40	大坪GSI(株)
41	(株)岡部マイカ工業所
42	(株)オカモト商店
43	岡谷鋼機九州(株)
44	オタライト(株)
45	(株)海水化学研究所
46	佳秀工業(株)
47	(株)主計物産
48	兼定興産(株)
49	兼貞シーケン(株)
50	カネックス刃物工業(株)

NO.	企業名
51	(有)カホテクノ
52	(株)河口家具製作所
53	(株)川島製作所
54	(株)環境施設
55	(株)関門経済研究所
56	菊美人酒造(株)
57	(株)喜多屋
58	(株)木原ハイテック
59	(有)キャップ
60	(同)ギャランドゥ
61	九州計測器(株)
62	九州高周波熱錬(株)
63	九州小島(株)
64	九州指月(株)
65	九州セラミックス工業(株)
66	(株)九州電化
67	(株)九州日昌
68	(株)九州ハセック
69	(株)九州プレジジョン
70	(株)九州メディカル
71	九州木材工業(株)
72	(株)京屋
73	協立エアテック(株)
74	(株)キョーワ
75	(株)極東製作所
76	近畿電機(株)
77	空調技研工業(株)
78	(株)熊谷ゴム工業
79	熊川食料工業(株)
80	グリーンハウス(株)
81	(株)黒木工業所
82	クロレラ工業(株)九州筑後工場
83	計測検査(株)
84	計測ソフト開発(株)
85	(株)幸袋テクノ
86	(株)コーセイジャパン
87	(合)こちら総務部
88	独楽工房 隈本木工所
89	小柳労働安全コンサルタント・技術士事務所
90	コヨウ(株)
91	(株)コレスポンド光栄
92	近藤製作所
93	(株)佐伯コミュニケーションズ 福岡営業所
94	(株)彩光コーポレーション
95	(有)坂田織物
96	坂田一則 技術士・労働安全コンサルタント事務所
97	(株)坂本電機製作所
98	(有)佐野商会
99	(有)三江工業所
100	三作合成ゴム(株)

2025年度 福岡県工業技術センタークラブ会員名簿(2/3)

2026年3月31日現在(敬称略)

NO.	企業名
101	三泉化成(株)
102	(株)CRC食品環境衛生研究所
103	(株)C&Gシステムズ
104	(株)ジーンアクト
105	(株)ジーンネット
106	七曜酒造(株)
107	(株)篠崎
108	(株)シマブン
109	下川フスマ製作所
110	(株)ジャパンシーフーズ
111	勝和産業(株)
112	(株)昭和テックス
113	昭和鉄工(株)
114	(株)如水庵
115	白垣木材(株)NB.HOLZ・MARKT
116	(株)しろみず
117	新北九州工業(株)
118	(株)SING
119	新興産業(株)
120	新日本製薬(株)
121	新日本非破壊検査(株)
122	杉プラスチック工業(株)
123	(株)正興電機製作所
124	(株)西部技研
125	(株)総桐筆笥和光
126	第一化工(株)
127	第一高周波工業(株)
128	大成薬品工業(株)
129	(株)大創
130	大電(株)
131	高木工業(株)
132	タカ食品工業株式会社
133	高杉製薬(株)
134	(株)高瀬文夫商店
135	(株)高田工業所
136	(株)高取焼宗家
137	(株)高山プレス製作所
138	宝産業(株)
139	田口電機工業(株)
140	竹下産業(株)
141	ダレスサンドロジャパン(株)
142	筑後染織協同組合
143	中央製袋(株)
144	(一財)直鞍情報・産業振興協会 直鞍産業振興センターADOX福岡
145	(株)辻製作所
146	(株)ツツミプランニング 中央研究所
147	(株)テクノ月星
148	テュフ ラインランド ジャパン(株) 九州EMCラボラトリー
149	デンカ(株)大牟田工場
150	電機樹脂(株)

NO.	企業名
151	東亜非破壊検査(株)
152	東京製鐵(株)九州工場
153	(株)同仁化学研究所
154	東洋ゴム織布(株)
155	東洋ステンレス研磨工業(株)
156	(株)東和コーポレーション
157	(株)ドーワテクノス
158	(株)戸畑製作所
159	トライポンプ技研
160	鳥越製粉(株)
161	中島ゴム工業(株)
162	(有)中島鍍金工業
163	中村産業開発(株)
164	(株)中村製紙所
165	(有)中村ツキ板
166	西村織物(株)
167	ニシヨリ(株) 広川事業所
168	日医製薬(株)
169	日米ゴム(株)
170	日進化学(株)
171	日鉄環境(株)
172	日鉄テクノロジー(株)
173	日塗化学(株)
174	(一財)日本食品検査 福岡検査所
175	(一財)日本食品分析センター 九州支所
176	日本磁力選鉱(株)
177	(株)日本生物製剤 研究所
178	日本タングステン(株)
179	日本ファインテック(株)
180	NUTRAD(株)
181	熱産ヒート(株)
182	直方精機(株)
183	(株)ノムラ
184	博多織工業組合
185	(株)博有
186	(株)羽野製作所
187	(株)春田建設
188	(株)ピーエムティー
189	(株)ピラミッド
190	(株)廣八堂
191	PinkieTech(株)
192	フォーリングス福岡
193	福岡クロス工業(株)
194	福岡県酒造組合
195	福岡県醤油醸造協同組合
196	(株)福岡タルク工業所
197	(株)フクネツ
198	(株)フコク
199	藤井精工(株)
200	(株)富士技建 福岡工場

2026年3月31日現在(敬称略)

2026年3月31日現在(敬称略)

NO.	企業名
201	富士岐工産(株)
202	(株)フジコー
203	不二精機(株)
204	(株)富士製作所
205	二瀬窯業(株)
206	(株)プラスワンテクノ
207	(株)ブラッツ
208	(株)ブルーグライダー
209	古川化学工業(株) 九州出張所
210	(株)Braveridge
211	(株)平成
212	(株)ヘルシーワンコーポレーション
213	本多機工(株)
214	前田機工(株)大川営業所
215	(株)前田商会
216	(株)正信
217	松本工業(株)
218	マルソー産業(株)
219	まるは油脂化学(株)
220	(株)マルミツサンヨー
221	三島光産(株)
222	(有)ミスタージョージ
223	(有)MIZUBEFIT
224	(株)みなの樹
225	宮若STM石灰(株)
226	村上機械(株)
227	(株)明德庵
228	(株)メイホー
229	(株)モチヤマ
230	(株)モリサキ
231	(株)杜の蔵
232	森博多織(株)
233	(株)森光商店
234	森山工業(株)
235	(株)安川電機
236	安田工業(株)八幡工場
237	(株)矢野特殊自動車
238	矢部川電気工業工業(株)
239	(株)山口油屋福太郎
240	(株)山本工作所
241	(株)やまやコミュニケーションズ
242	八女福島仏壇仏具協同組合
243	(株)ユーカス
244	(株)横浜アートニクス
245	吉川工業(株)
246	吉川工業ファインテック(株)
247	ラサ工業(株)羽犬塚工場
248	理研農産化工(株)福岡工場
249	リックス(株)
250	龍宮(株)

[illegible]

2026年度 福岡県工業技術センタークラブ 理事会 名簿

敬称略・順不同

役員	企業名	役職	氏名
会長	株式会社安川電機	代表取締役会長兼社長	小笠原 浩
副会長	オタライト株式会社	代表取締役社長	梅野 千秋
副会長	株式会社 CGS ホールディングス	代表取締役社長	塩田 聖一
理事	株式会社高田工業所	代表取締役社長	高田 寿一郎
理事	株式会社フジコー	代表取締役会長	山本 厚生
理事	一番食品株式会社	代表取締役社長	有吉 崇
理事	株式会社メイホー	代表取締役社長	永松 克彦
理事	株式会社ピーエムティー	代表取締役	京谷 忠幸
理事	中村産業開発株式会社	代表取締役社長	中村 一義
理事	リックス株式会社	代表取締役社長執行役員	安井 卓
理事	昭和鉄工株式会社	代表取締役社長	日野 宏昭
理事	株式会社イシモク・コーポレーション	代表取締役社長	石井 康博
理事	一般財団法人日本食品分析センター福岡事務所	所長・受託サービス部副部長	中西 徹
理事	株式会社ピラミッド	代表取締役社長	伊藤 恭道
監事	中島ゴム工業株式会社	代表取締役社長	中島 幹雄
監事	福岡県醤油醸造協同組合	理事長	藤 浩太郎

2025年度 福岡県工業技術センタークラブ活動実績表(●:会議等、○:活動等、◇:研究会活動等)

年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事務局	◇2: IoT個別実習	◇9: IoT個別実習 ●22: 理事会	◇16 IoT個別実習 ◇19 IoT個別実習	◇11: IoT個別実習 ●24: 総会 ○24: 先端技術シンポ シナウム ◇31: IoT個別実習		◇1 IoT個別実習 ◇9 IoT個別実習 ◇11 IoT個別実習 ◇17 IoT個別実習	○15-17: ものづくりフェア 2025出展 ○16: 工技センター成 果発表会共催	◇10: IoT個別実習 ◇13: IoT個別実習		◇20: IoT個別実習 ●22: 実行委員会 ○会員名簿発 行		◇10: IoT個別実習 ◇12: IoT活用勉強会 ◇27: IoT個別実習
ナノテク材料技術部会			○20: 第1回「技術講習会」(オンライン・リアルハイブリット)	●24: 第1回「委員会」		○12: 第2回「工場見学会」		○25: 第3回「技術講習会」(オンライン)	○17: 第4回「技術講習会」			●5: 第2回「委員会」 ○5: 第5回「技術講演会」
バイオ技術部会		○7~8: 第1回「技術講習会」	○18~20: 第1回「技術講習会」	●24: 第1回「委員会」	○26~28: 第1回「技術講習会」			○26: 第2回「講演会」		○27: 第4回「見学会」 ○28~30: 第1回「技術講習会」	○4~6: 第1回「技術講習会」 ●9: 第2回「委員会」(オンライン) ○18~20: 第1回「技術講習会」	
デザイン部会				●24: 第1回「委員会」				○19: 第1回「技術講習会」	○10: 第1回「技術講習会」	○16: 第2回「施設見学会」		●5: 第2回「委員会」
機械・電子技術部会				○2~4: 第1回「展示会出展」 ○15: 第2回「技術講演会」 ●30: 第1回「委員会」		○30: 第3回「技術講演会」	○6: 第4回「技術講演会」 ○31: 第5回「技術講演会」		○8: 第6回「技術講演会」	○23: 第7回「施設見学会」 ●23: 第2回「委員会」		●上旬: 第3回「委員会」(書面)

2025先端技術シンポジウム 収支決算書

【収入の部】

【支出の部】

(単位:円)

項目	金額	項目	金額
交流会費	252,000	謝 金 ・ 旅 費	194,974
		実行委員会旅費(2025.12 Web開催)	0
		シンポ講師謝金・旅費	194,974
		内訳)	
		講師謝金: 100,000円	100,000
		講師謝金: 16,500円	66,000
		3,900円	15,600
		講師旅費	10,074
		両替手数料、振込手数料	3,300
		会 場 使 用 料 等	669,400
		会場使用料	668,850
		両替手数料、振込手数料	550
		交 流 会 費	451,600
		交流会費	451,600
		福岡県産日本酒等	0
		消 耗 品 費	26,655
		チラシ印刷代	5,925
		要旨集、配布資料印刷代	20,730
		会 議 費	0
		実行委員会費雑費	0
		通 信 運 搬 費	46,210
		シンポジウム開催案内送付	43,520
		講師支払い関連書類送付	110
		実行委員会資料送付等	2,580
合 計	252,000	合 計	1,388,839

※福岡県工業技術センタークラブ負担金額

シンポジウム開催費＝

1,136,839 円

2025年度 4部会事業費決算明細表

収入

単位:円

科目	ナノテク・材料技術部会	バイオ技術部会	デザイン部会	機械・電子技術部会	計
交付金	部会事業費 200,000	部会事業費 200,000	部会事業費 200,000	部会事業費 200,000	800,000
	研究会費 0	研究会費 0	研究会費 0	研究会費 0	
利息	155	114	250	243	762
合計	200,155	200,114	200,250	200,243	800,762

支出

単位:円

科目	ナノテク・材料技術部会	バイオ技術部会	デザイン部会	機械・電子技術部会	計
会議費	(予算:41,500円) 44,300	(予算:40,000円) 33,500	(予算:41,400円) 43,642	(予算:56,000円) 20,852	142,294
委員会	第1回委員会 44,300	第1回委員会 33,500	第1回委員会 30,831	第1回委員会 13,426	
			第2回委員会 12,811	第2回委員会 7,426	
事業費	(予算:155,400円) 48,030	(予算:150,000円) 109,390	(予算:140,000円) 153,672	(予算:166,500円) 57,794	368,886
技術部会	講師謝金 48,030	食品変質抑制セミナー 109,390	見学会交通費 153,672	講師謝金 57,794	368,886
	講師旅費 36,000		入場料 0	講師旅費 45,000	
	振込手数料 5,260		見学先土産代 9,000	参加者給茶代 960	
	会場費 770		講師謝金 6,112	見学先への御礼 3,564	
	企業見学会 0		講師旅費 108,000		2,000
			会場費 26,160	その他 0	
			会場設営費 4,400	振込手数料 5,610	
				送料 660	
研究会	0	0	0	0	0
事務費	(予算:2,000円) 0	(予算:10,000円) 0	(予算:5,000円) 0	(予算:1,000円) 0	0
	事務費 0	事務費 0	事務費 0	事務費 0	
予備費	(予算:2,100円) 0	(予算:0円) 0	(予算:4,600円) 0	(予算:0円) 0	0
合計	92,330	142,890	197,314	78,646	511,180

福岡県工業技術センタークラブ会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、福岡県工業技術センタークラブ（以下「センタークラブ」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、福岡県工業技術センター（以下「センター」という。）との情報交換、技術交流を密接にし、会員とセンター、及び、会員相互の連携・共創体制を構築することにより会員の技術開発の促進と事業の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を実施する。

- (1) センターの研究開発への産業界ニーズの反映に関すること
- (2) 多様な形態による共同研究開発の取り組み及び研究成果の活用に関すること
- (3) 最新技術に関わる技術講演会及び発表会の開催
- (4) インターネットを利用した技術情報の提供及び情報交換に関すること
- (5) センタークラブと行政の意見交換会の開催
- (6) その他、会員の技術開発力の向上に資する事業に関すること

第2章 会 員

(会員)

第4条 本会の会員は、第5条の定めに基づき入会手続きを行った正会員及び特別会員とする。

2 正会員は、第2条に定める目的に賛同し、センタークラブの活動を推進する、自ら研究開発に取り組む事業者とする。

3 特別会員は、第2条に定める目的に賛同し、センタークラブの活動を支援する行政機関、金融機関及び産業支援機関とする。

(入会)

第5条 会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を提出し、会長の承認を得なければならない。

(退会)

第6条 会員は、退会しようとするときは、会長に届けなければならない。

福岡県工業技術センタークラブ会則

第3章 役 員

(役員)

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名以内
- (3) 理事 15名以内
- (4) 監事 2名

(選任等)

第8条 会長、副会長、理事及び監事は会員の中から総会において選任する。

2 理事及び監事は相互にこれを兼ねることはできない。

(職務)

第9条 会長は本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
- 3 理事は理事会を組織し、会務を執行する。
- 4 監事はセンタークラブの会計を監査する。

(任期)

第10条 役員の任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。但し再任を妨げない。

2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

第4章 会 議

(会議)

第11条 センタークラブに次の会議をおき、会長が招集する。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) その他必要な部会

(総会)

第12条 総会は、毎会計年度終了後、原則として3ヶ月以内に開催する。

- 2 総会は、この会則で別に定めるもののほか、次の事項を議決する。なお会長が必要と認めたときは臨時総会を開催することができる。
 - (1) 事業計画
 - (2) 予算決算
- 3 総会は会員の3分の1以上の出席をもって開く。

福岡県工業技術センタークラブ会則

- 4 総会の議長は、会長がこれにあたる。
- 5 総会の議決は、出席会員の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(理事会)

- 第13条 理事会は、会長、副会長、理事をもって構成し、総会の開催及び総会の付議事項について議決する。
- 2 理事会の議長は会長をもってあてる。
 - 3 理事会の議決は、出席理事の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第5章 会 計

(経費)

- 第14条 本会の運営に関する経費は、次にあげる収入をもってあてる。
- (1) 会費収入
 - (2) その他

(会費)

- 第15条 会費は年額1万円とし、正会員はこれを毎年4月30日までに納めるものとする。なお、特別会員については会費の納入を免除する。

(会計年度)

- 第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 会則の変更

(会則の変更)

- 第17条 この会則の変更は、総会において、出席会員の3分の2以上をもってこれを決する。

第7章 事務局

- 第18条 センタークラブの事務を処理するため、当分の間センターに事務局を置く。
- 2 事務局に事務局長をおき、センター所長をあてる。

第8章 補 則

- 第19条 この会則の定めるもののほか、センタークラブの運営に関して必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が別に定める。

福岡県工業技術センタークラブ会則

附則（経過措置）

- 1 この会則は、設立総会の日から施行する。
- 2 センタークラブ設立当初の役員の構成及び選出については、第8条及び第10条の規定にかかわらず、設立者の定めるところとし、その任期は、センタークラブ設立の日から平成14年度の最初に行う総会開催の日までとする。
- 3 センタークラブ設立当初の会計年度は、センタークラブ設立の日から翌年3月31日までとする。
- 4 第15条に定める会費については、平成13年度から適用する。

附則（会則の変更）

- 1 平成16年5月26日一部改正
- 2 平成28年6月14日一部改正

2026年度 福岡県工業技術センタークラブ 総会

日時:2026年7月21日(火) 13:00～
会場:福岡リーセントホテル 舞鶴の間

議事(1) 2026年度総会の開催(案)について

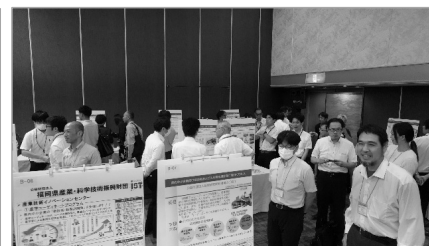
1. 目的 福岡県工業技術センタークラブの2025年度事業報告、
2026年度事業計画、会費の改定および役員の選任
に関する事項等を審議及び決定する。
2. 日時 2026年7月21日(火) 13:00～13:30
3. 場所 福岡リーセントホテル 舞鶴の間
(福岡市東区箱崎2丁目52番1号)
4. 議案
 - ・第1号議案: 2025年度事業報告(案)について
 - ・第2号議案: 2025年度収支決算書(案)について
 - ・第3号議案: 2026年度事業計画(案)について
 - ・第4号議案: 2026年度収支予算書(案)について
 - ・第5号議案: 会費の改定(案)について
 - ・第6号議案: 役員の選任(案)について

議事(2) 議題1 2025年度 事業報告(案)

1. 会員数 273機関 (2025年度 入会:14機関、退会:9機関)
2. 理事会 【開催日】2025年5月22日(木)
 【場 所】福岡県工業技術センター
 【内 容】2025年度総会の開催及び付議事項について
3. 総会 【開催日】2025年7月24日(木)
 【場 所】福岡リーセントホテル
 【内 容】・2024年度 事業報告(案)について
 ・2024年度 収支決算(案)について
 ・2025年度 事業計画(案)について
 ・2025年度 収支予算(案)について
 ・役員選任(案)について

先端技術シンポジウム 開催の様子

【開催日】 2025年7月24日(木) 【場所】福岡リーセントホテル
【参加者】 190名(交流会:92名) 【内容】講演、ポスター展示、交流会



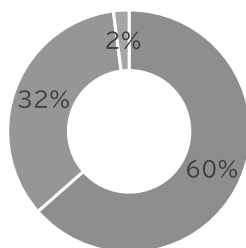
- 特別講演
『BraveJIGを活用してWebエンジニアが簡単IoT構築
～Webエンジニアだけで革新的なIoTを実現できるソリューション～』
株式会社Braveridge 代表取締役社長 小橋 泰成 氏
- 会員成果事例発表
 - ・(有)鬼丸雪山窯元 ・(有)カホテクノ
 - ・九州木材工業(株) ・アスカコーポレーション(株)
- 特別会員からの支援メニュー紹介
 - ・(公財)飯塚研究開発機構
- ポスター発表 会員機関9件、工業技術センター 20件

先端技術シンポジウム実行委員会 (2026年1月22日オンライン開催)

・2026年度委員長の選出 委員長:塩田聖一氏(株)CGSホールディングス

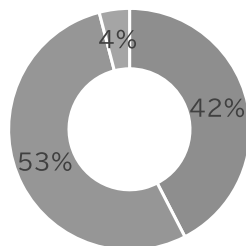
先端技術シンポジウムのアンケート結果

【参加目的】



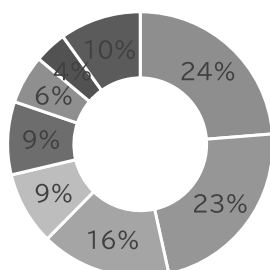
- 技術調査・情報収集
- 会員等との交流連携・ネットワーク構築
- その他

【満足度】



- 大いに参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった

【シンポジウムにおいて取り上げてほしい内容】



- 先端技術
- 技術動向
- 工技センター技術シーズ・成果事例
- 技術開発秘話
- 会員企業の成果事例
- 人材育成
- 公的・民間の企業支援施策・メニュー
- その他

先端シンポジウム 特別講演
藤井精工(株)(鞍手町) 蔵前法文 様
『日本のモノづくりが
医療機器で花開いた奇跡
～日本のモノづくりの可能性～』

金型メーカーである藤井精工(株)が超精密金型技術を武器に、医療分野に進出。世界最小級のステント挿入部品の量産に成功。

生産性向上研究会

【IoT導入支援キット】

福岡県工業技術センターが無償公開するIoTツール
製造現場の見える化を、安価かつ専門知識がない方でも実現

○ IoT導入支援キットオープンソースソフトウェアの無償提供

【内 容】「IoT導入支援キットVer.4」の技術情報とソフトウェアを
工業技術センターホームページ上で無償提供中

○ 生産進捗管理システムYokaKitオープンソースソフトウェアの無償提供

【内 容】「生産進捗管理システムYokaKit」の技術情報とソフトウェアを
工業技術センターホームページ上で無償提供中

○ IoT関連技術実習セミナー

個別セミナー 19回 (参加企業21社、40名(R6: 19社、31名))

○ IoT活用勉強会(センタークラブ会員企業のみが対象)

・第1回活用勉強会

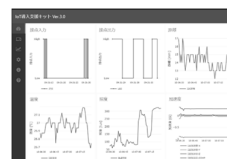
【日 時】2月27日(木) 【参加者】 3社7名(R6: 3社4名)

【内 容】 ロケット石鹼株式会社のIoT取組紹介及び工場見学

BraveJIG及びYokaKitの紹介、各社の進捗状況報告・意見交換、
令和8年度の計画



IoT導入支援キット
(installed in Raspberry Pi)



ダッシュボード画面



BraveJIG
(株)Braveridge

モノづくりフェア 出展の様子

【日時】令和7年10月15日(水)～17日(金)

【場所】マリンメッセ福岡

【展示】会員企業3社及びセンタークラブ

DHF(株) (第一高周波工業(株))

藤井精工(株)

(株)博有

来場者376名、商談23件 (3社合計)



【出展企業の満足度】

大いに満足 2社、満足 1社

【出展効果】

- ・自社のアピール
- ・製品のアピール
- ・来場者からの情報収集
- ・来場者との商談



その他の事業

○ 工業技術センター成果発表会

【日 時】 2025年10月16日(木) 【来場者数】 154名

○ 技術情報の提供

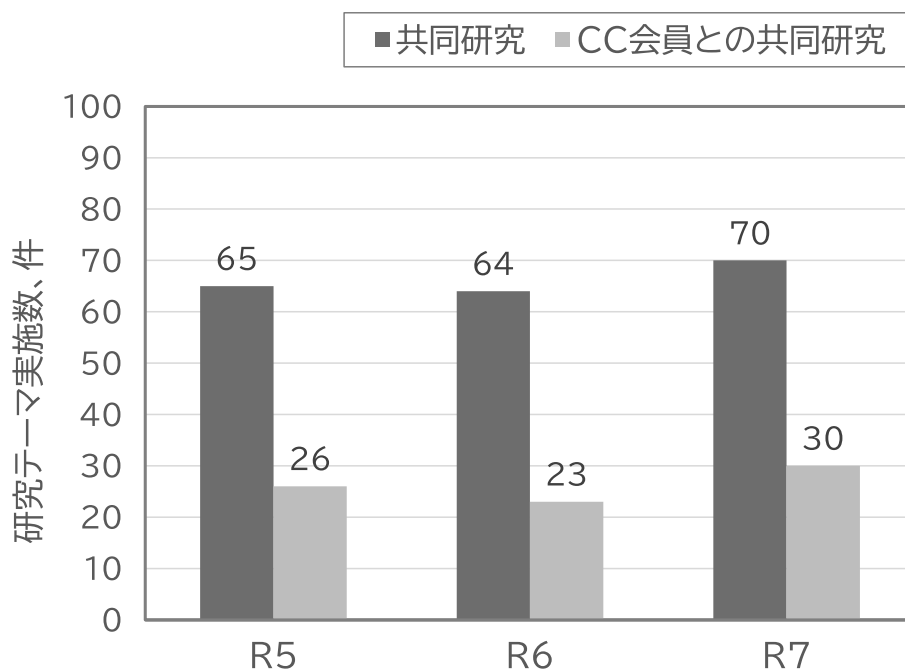
メール等による助成事業、技術講演会等の情報提供 (53回、168件)

技術部会活動

	委員会	技術部会および参加者	
ナノテク・材料技術部会	2回	見学会 1回 講演会 2回 講習会 2回	137名(会員32名、28機関)
バイオ技術部会	2回	見学会 1回 講習会 6回 講演会 1回	78名(会員49名、28機関)
デザイン部会	2回	見学会 1回 講演会 2回	70名(会員15名、12機関)
機械・電子技術部会	3回	見学会 1回 講演会 5回 展示会 1回	180名(会員73名、42機関)

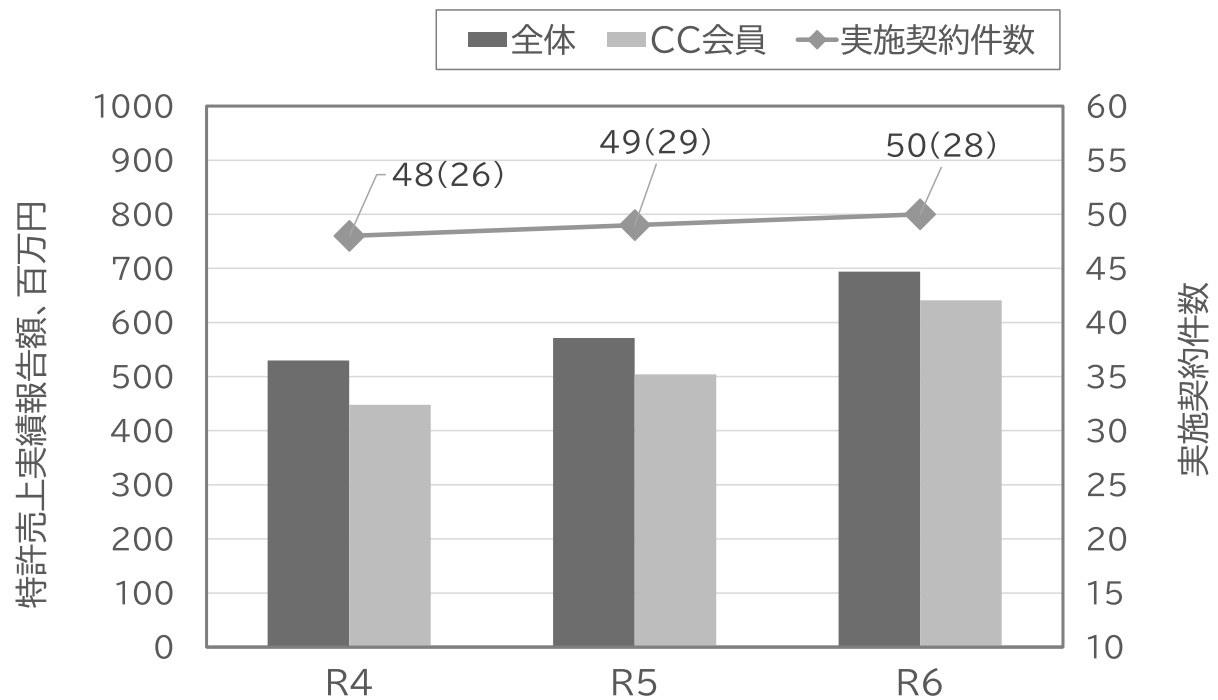
○ 活動実績 見学会、講習会など 23回
465名(会員169名、110機関)

工業技術センターとの共同研究実績



【R7年度】 $\frac{\text{CC会員との共同研究の数}}{\text{共同研究の数}} = 43\%$

共創成果 企業への特許ライセンス実績



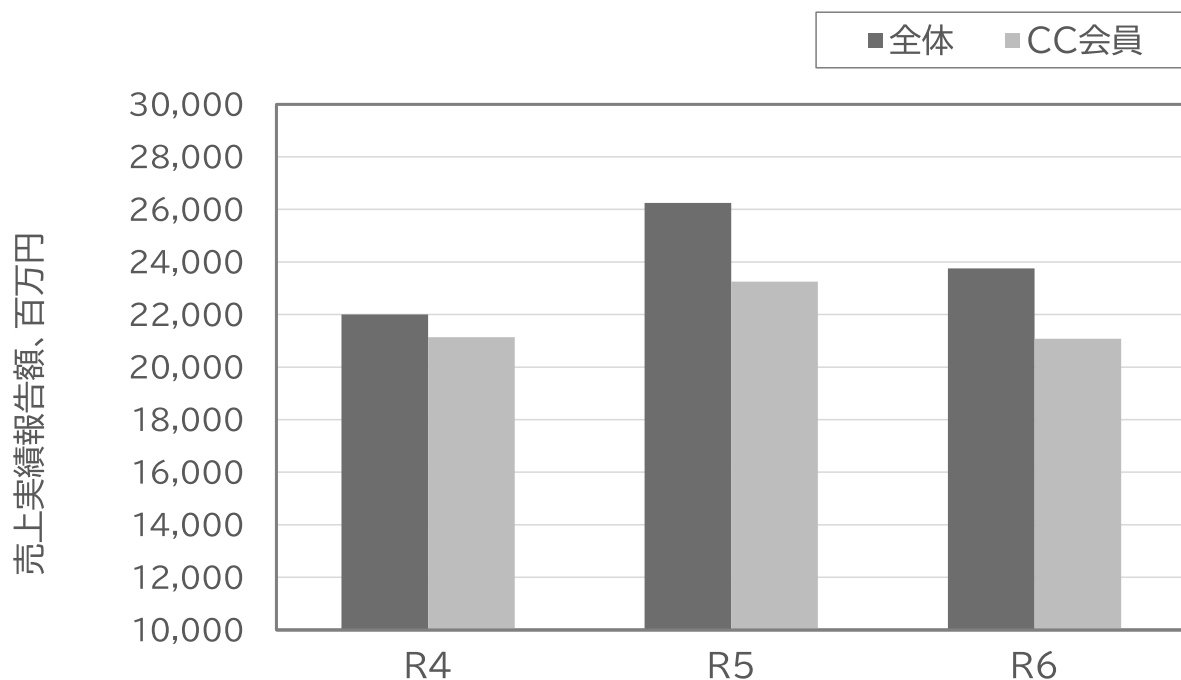
※ 特許売上実績報告額

工業技術センターの特許ライセンス契約による製品の売上

【R6年度 6.9億円、その内CC会員 6.4億円】

※ ()の数字は、CC会員の実施契約件数

共創成果 事業化支援実績



※ 売上実績報告額

工業技術センターを活用して開発された製品の売上実績

【R6年度 238億円(251件)、

その内CC会員 211億円(126件)】

共創成果 第10回ものづくり日本大賞の受賞

○ 優秀賞

リックス(株)、工業技術センター

「マイクロアイスジェットによる超精密洗浄技術の開発」

○ 九州経済産業局長賞

九州木材工業(株)、八光オートメーション(株)、九州大学、工業技術センター

「美観性、難燃性を維持する防火材料『不燃木』及び全数非破壊検査技術の開発」



議題2 2025年度 収支決算書(案)

○ 収入の部

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)
前年度繰越	1,127,386	1,127,386	0
会費	2,540,000	2,500,000	▲40,000
先端シンポジウム	300,000	252,000	▲48,000
その他	100	3,065	2,965
収入の部合計	3,967,486	3,882,451	▲85,035

○ 支出の部

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)
会議費	5,000	1,895	▲3,105
事業費	3,110,000	2,720,850	▲389,150
事務費	150,000	137,870	▲12,130
予備費	702,486	0	▲702,486
支出の部合計	3,967,486	2,860,615	▲1,106,871
繰越金			1,021,836

2025年度 会計監査報告(案)

2026年 5 月 15 日

福岡県工業技術センタークラブ
会長 小笠原 浩 様

福岡県工業技術センタークラブ

監事 中島 幹雄



監事 藤 浩太郎



福岡県工業技術センタークラブ会則第9条第4項の規定により、下記のとおり
監査を行いましたので報告します。

記

1. 監査年月日： 2026年 5 月 15 日
2026年 4 月 16 日
2. 監査の対象： 2025年度事業及び決算
3. 監査の結果： 帳簿、証拠書類の照合を行った結果、計数に
相違なく正確であると認められる。

議題3 2026年度 事業計画(案)

○ 基本理念

工業技術センターを中心に、他の試験研究機関、大学、産業支援機関、金融機関等と、会員企業が積極的に連携することで、先進的な技術開発へ果敢に取り組む会員企業の課題の解決を図るとともに、会員企業の積極的な交流を通じた相互連携、共創体制の構築により、着実な企業成長に繋げる。

○ 基本方針

- ① 新技術・独自技術の開発に果敢に取り組むものづくり企業の支援
 - ・新技術開発に向けた機運醸成及び最新技術に関する情報提供
 - ・国や県等の補助金などに関する情報提供
 - ・ものづくり企業の根幹を担う人材の育成
 - ・生産性向上に関する支援の強化
- ② 会員企業間および工業技術センターとの連携強化支援
 - ・革新的技術開発に取り組む企業の事例紹介や情報交換会の開催
 - ・会員企業ニーズの把握と課題解決に向けたマッチング
- ③ 販路拡大支援
 - ・新技術や新製品など、開発成果の積極的な発信による取引拡大支援

2026年度 先端技術シンポジウム

【開催日】 2026年7月21日(火) 14:00～17:10

【場所】 福岡リーセントホテル

○ 特別講演

『日本のモノづくりが医療機器で花開いた奇跡』

藤井精工株式会社 医療事業部長 兼 責任技術者 蔵前 法文 氏

○ 会員成果事例発表

「国産天然染料「ウルシ」の新しい草木染め 黄漆染(こうしつぜん)」

有限会社明光メディカル 三木 博文 氏

「再生医療に必要な、高品質な幹細胞の生産に資する完全閉鎖系自動培養装置の開発」

株式会社アステック 細胞科学研究所 所長 坂井 孝則 氏

「NIKAWA事業でデザイナーと作り上げた漆で仕上げるプロダクト(仮)」

漆工房 岩弥 代表 近松 敏夫 氏 スタジオ・ヨー 溝口 瑛 氏

「溶接レス、カシメ接合技術JMECの開発(仮)」

松本工業株式会社 取締役技監 早川 弘幸 氏

○ ポスター発表 会員4件、特別会員3件、工業技術センター 21件

先端技術シンポジウム実行委員会 (2026年12月頃)
・2026年度開催報告 ・2027年度実施内容

生産性向上研究会

○ 機械電子研究所で開発した「IoT導入支援キット」による生産性向上支援、技術情報とソフトウェアの無償提供

○ 機械電子研究所で開発した(※)「生産進捗管理システムYokaKit」による生産性向上支援、技術情報とソフトウェアの無償提供

○ 技術セミナーの開催

○ 現場での実測を通じたハンズオン支援

○ 各社活用事例の紹介や測定ノウハウ情報の共有化

※ 株式会社戸畑ターレット工作所様
との共同開発

○ IoT活用勉強会

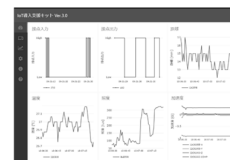
IoTを活用した生産性向上に関する取組紹介・意見交換
「省力化」や「生産性向上」の効果を検証

AIの導入に向けた意見交換

・現場で使える・画像認識AI(異常検知や外観検査)



IoT導入支援キット
(installed in Raspberry Pi)



ダッシュボード画面

その他の事業

○ 工業技術センターおよび会員相互の連携

- ・工業技術センター成果発表会の共催
- ・会員名簿の作成、発行

○ 技術情報の提供

- ・提案公募型事業、講演会、セミナー等の技術情報についての情報提供

○ 会員の製品・技術のPRによる販路拡大支援

- ・「モノづくりフェア2026」出展支援(協賛)

工業技術センタークラブの展示ブースを設け、会員企業の製品を展示

○ 工業技術センタークラブのPR

- ・「モノづくりフェア」において、センタークラブの活動、成果事例をPR
- ・工業技術センター利用企業へのセンタークラブの案内を実施
- ・パンフレットおよびホームページ等に成果や事業実績を紹介

○ 特別会員との連携

- ・会員企業の新たな連携の促進や事業展開のために、特別会員が実施している企業向け支援メニューの紹介等を進める。

技術部会の活動計画

	委員会	技術部会	
ナノテク・ 材料技術部会	2回	講習会 3回 講演会 1回	見学会 1回 (アイリスオーヤマ鳥栖工場、 ダイハツ九州等を予定)
バイオ技術部会	2回	講習会・講演会 要望に応じて実施	見学会 1回
デザイン部会	2回	講演会 1回	見学会 1回 (BS久留米、アサヒシューズ、 ムーンスター等を予定)
機械・電子技術部会	3回	講習会 6回 展示会 1回	見学会 1回 (アスカコーポレーション、 正興電機製作所、テルモ山 口、九州電化等を予定)

議題4 2026年度 収支予算書(案)

○ 収入の部

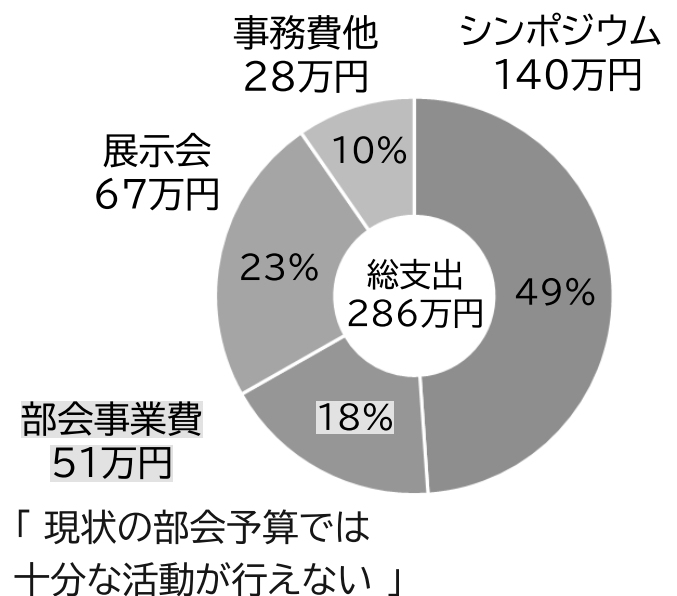
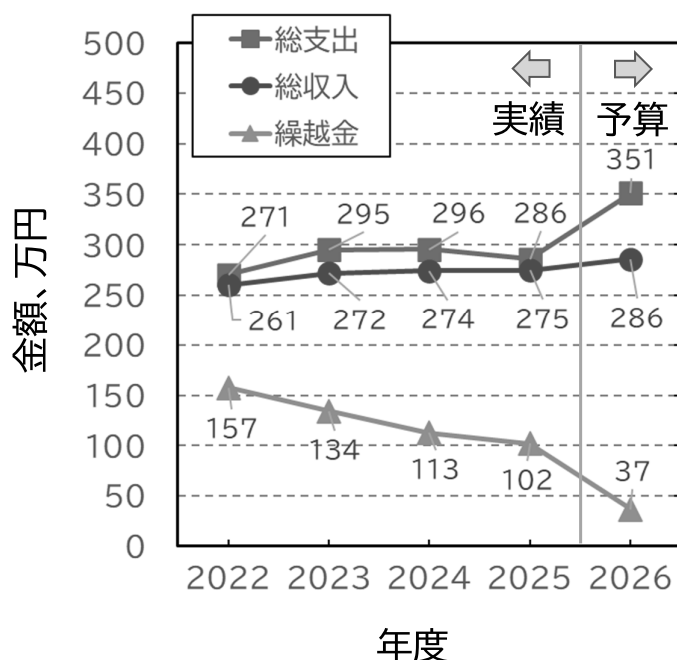
科目	2025予算	2026予算	増減
前年度繰越	1,127,386	1,021,836	▲105,550
会費	2,540,000	2,590,000	50,000
先端シンポジウム	300,000	270,000	▲30,000
その他	100	3,000	2,900
収入の部合計	3,967,486	3,884,836	▲82,650

○ 支出の部

科目	2025予算	2026予算	増減
会議費	5,000	5,000	▲5,000
事業費	3,110,000	3,360,000	250,000
事務費	150,000	150,000	0
予備費	702,486	369,836	▲332,650
支出の部合計	3,967,486	3,884,836	▲82,650

議題5 会費の改定(案) 会費改定の背景

- ① 物価高騰により単年度収支が赤字
- ② 部会事業の予算が不足【部会の声】



2025年度 支出実績

会費の改定(案)

○ 会費改定(案)

現行 年額1万円 ⇒ 改定後 年額1万5千円

○ 施行時期(案)

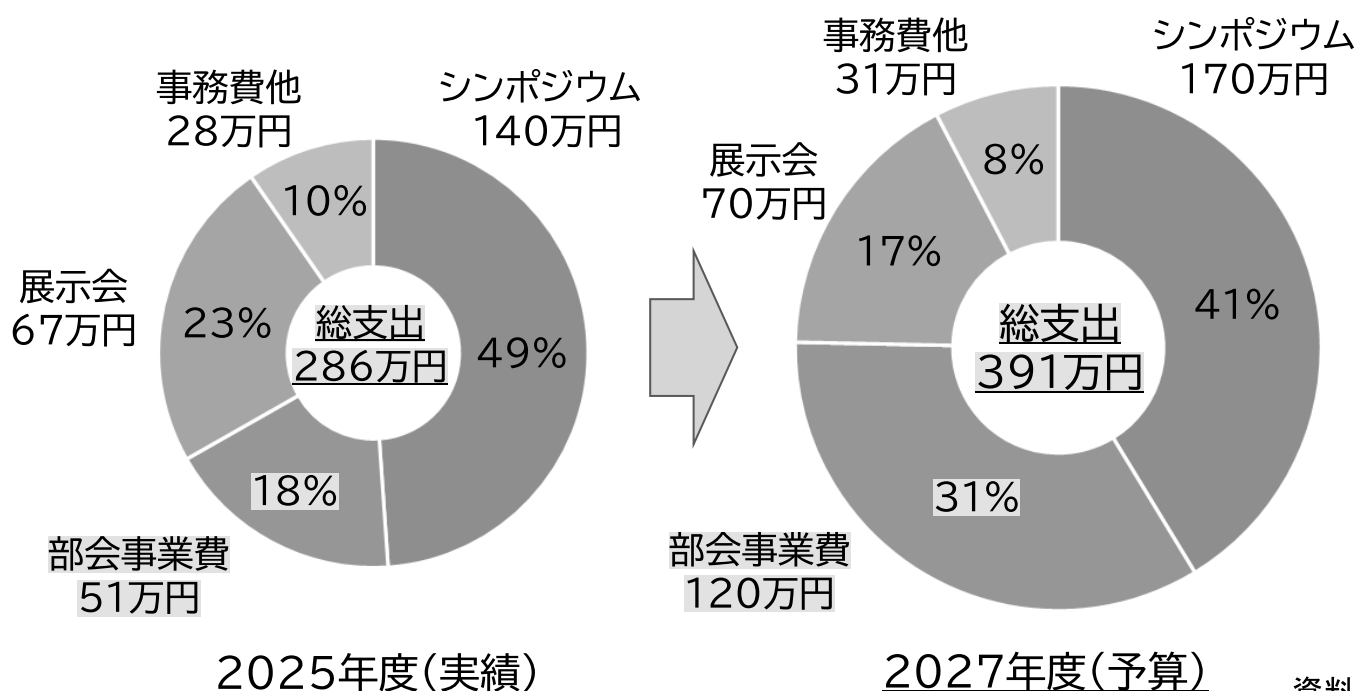
令和9年度4月の会費納入分より適用

第17条(会則の変更)

総会において、出席会員の3分の2以上を
もってこれを決する。

会費改定の目的

『 部会事業の拡充と主要事業の継続実施による
会員企業のさらなる成長・発展 』

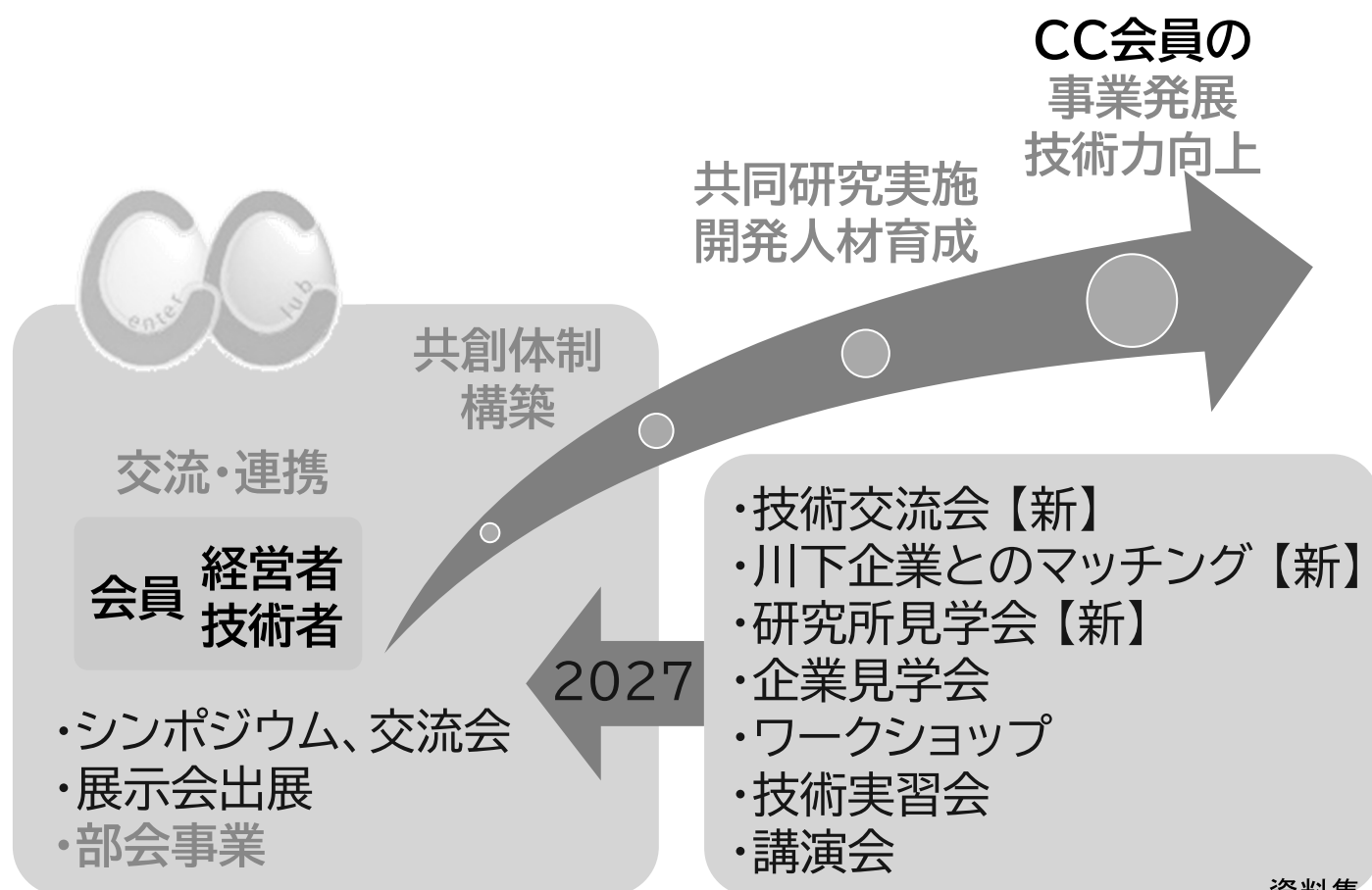


収支の見込み

会計年度		2025 実績	2026 予算	2027 予算
総収入		275	286	415
総支出		286	351	391
収支		-11	-65	24
繰越金		102	37	61
支出内訳	総会・シンポジウム	140	170	170
	部会事業費(4部会)	51	80	120
	展示会出展費	67	70	70
	事務費他(生産性研究会含む)	28	31	31

- 2027年度に会費を年額10,000円から15,000円に改定した場合の試算
- 総収入には、会費収入およびシンポジウム交流会参加費を含む

センタークラブの活性化案(部会事業の充実)



センタークラブの活性化案(部会事業の充実)

【1】 技術交流・連携の強化

共同研究プロジェクトの増加、事業化による企業収益向上

○ 技術交流会【新】

研究所を含む会員企業間のシーズ・ニーズマッチング

○ 川下企業とのマッチング【新】

設計者(デザイナー)及び大手企業とつながる機会を創出

○ 研究所見学会【新】

研究所の最新設備を見学、紹介

○ 企業見学会

企業単独では訪問困難な企業の見学

センタークラブの活性化案(部会事業の充実)

【2】 開発人材の育成強化

企業の技術者が開発に必要なスキルを習得、開発力を向上

○ ワークショップ

実践スキル(商品開発、販促、デジタル活用等)を習得

○ 技術講習会

マンツーマン指導で、開発に必要なスキルを習得

○ 講演会

企業単独では招聘困難な専門家、講師による講演

会員企業の「事業発展」及び「技術力向上」を目的として
会員にとって魅力ある事業を着実に実施します

センタークラブの活性化案(その他)

【3】 その他

○ 主催イベントは、原則、会員のみの参加

非会員が参加する場合は有料とする

※ 今年12月に開催するシンポジウム実行委員会にて協議

○ 企業訪問による活動PR

センターの利用実績が少ない会員企業へ訪問

センターの活用促進、お困りごとの聞き取り

議題6 役員の選任(案)

現役員の任期は2026年総会までであるため、
福岡県工業技術センタークラブ会則第10条第1項
に基づき、下記の役員を選任する

記

1 会 長	1名
2 副会長	3名以内
3 理 事	15名以内
4 監 事	2名

議題6 役員の選任(案)

2026年総会終結時から2028年総会まで

役員	企業名	役職	氏名	
会長	株式会社安川電機	代表取締役会長兼社長	小笠原 浩	
副会長	株式会社CGSホールディングス	代表取締役社長	塩田 聖一	
副会長	リックス株式会社	代表取締役社長 執行役員	安井 卓	新任 現理事
理事	株式会社高田工業所	代表取締役社長	高田 寿一郎	
理事	株式会社フジコー	代表取締役会長	山本 厚生	
理事	一番食品株式会社	代表取締役社長	有吉 崇	
理事	株式会社メイホー	代表取締役社長	永松 克彦	
理事	株式会社ピーエムティー	代表取締役	京谷 忠幸	
理事	中村産業開発株式会社	代表取締役社長	中村 一義	
理事	昭和鉄工株式会社	代表取締役社長	日野 宏昭	
理事	株式会社イシモク・コーポレーション	代表取締役社長	石井 康博	
理事	オタライト株式会社	専務取締役	梅野 慧	新任
理事	一般財団法人日本食品分析センター 福岡事務所	所長 受託サービス部 副部長	中西 徹	新任
理事	株式会社ピラミッド	代表取締役社長	山田 誠	新任
監事	中島ゴム工業株式会社	代表取締役社長	中島 幹雄	
監事	福岡県醤油醸造協同組合	理事長	藤 浩太郎	